

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

二期始業式

9月2日(月)、2学期始業式を行いました。

小田校長からは、自分に自信をつけるための具体的方法についてのお話がありました。

―校長式辞より抜粋―

今年の夏もとても暑かったですが、みなさんは充実した夏休みを過ごせましたか？何か自分はこれを頑張ったと言えるものがあるでしょうか？

それが言える人は素晴らしいと思います。一生懸命打ち込めるものがあるということは本当に幸せなことだと思います。それを大事に大きく広く育ててほしいと思います。

一方、特に頑張ったと言えるようなことはなかったし、ただなんとなく過ごしてしまったという人もいるかもしれません。頑張れない自分は意志が弱くてダメだなあとか自信をなくしている人はいませんか？大丈夫です。皆さんは頑張っています。心配いりません。私は皆さんが夏休み中も、この猛暑の中、相高坂を上って登校して真面目に補習を受けている姿、部活動をしている姿を見ていつもすごいなと思っていました。



私は、自分で考えて決めたことをコツコツと積み上げていくことが自信をつける方法だとこれまで何回も言ってきました。自分に自信が持てないという人は、確実にできるだろうということからまずは始めてみる事です。すでに毎日行っていることを振り返ってみるという習慣をつけることからはじめてもよいと思います。自分の毎日の行動を細かく分析してみると何かヒントが見つかるかもしれません。他人と較べて判断するの



ではなく、自分ができていることを認めて自分を褒めたり、自分がありがとうと言ってあげたりしましょう。

そして、自分の変化に気がつくようになれば、自然ともう少しこうしたらどうなるだろうかとか、考えて試してみたくなったりするのではないでしょうか。自分が考えて行動を少し変えたことで何かが変わるといふことに気がつけば、あとはどんなになりたい自分をめざして自分自身を変えてゆけばよいのです。

まずは、自分が好きなことや嫌いなこと、得意なことと苦手なこと、できていることとできていないことなどをきちんと理解することから始めてみましょう。完璧な人間、万能な人間など一人もいません。みんな得意なこと苦手なことがあります。どんなに努力して準備



していても、失敗したり判断を間違えてしまったりすることもあります。自信満々などという状態はあり得ないのが普通だと思います。社会に出れば、今よりもっと何が正解か分からない問題に向き合い、判断して答えを出さないとはいけません。もちろん一人ではできません。一人でできることなんてたかがしれています。チームで協力して問題に立ち向かうことになります。そのための準備を今、高校でやっているわけです。

この夏休み、充実して過ごせなかったという人は、2学期はどうすればいいか考えて頑張ればよいのです。2学期は学校行事もたくさんあります。3年生はいよいよ受験の正念場です。まだまだ猛暑が続くようですが、体調管理をしっかりと、みんなで協力して感謝と笑顔のあふれる2学期にしていきたいと思います。

始業式に続いて、表彰伝達式では、県大会に出場した吹奏楽部が表彰されました。

さわやか挨拶運動

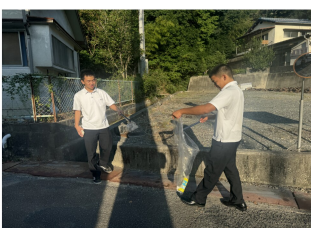
9月13日(金)、2学期最初の「さわやか挨拶運動」を実施しました。早朝7時前から生徒会役員が続々と集



まり、相生駅周辺のゴミ拾いを実施しました。今日もたくさんのごみを回収することができました。その後、きれいになった相生駅北



1年5組も
しっかり頑張りました。



朝から、しっかり、ごみ拾い！

北側では、大西教育次長と
生徒会が元気に明るく。

ロータリーと相生駅南口で生徒会と1年5組が挨拶運動を行いました。今月は、相生市教育委員会の大西教育次長も来られ、相高生と一緒に挨拶運動に参加していただきました。ありがとうございました。相生駅の南北で、生徒会と1年5組の生徒のさわやかで元気な挨拶の声が響きわたる、「さわやか挨拶運動」でした。